

鯖江市議会100条調査特別委員会の 調査経費の追加に関する決議（市会案第1号）

令和4年度における鯖江市議会100条調査特別委員会の調査経費について、500,000円追加し、1,700,000円以内とする。

以上、決議する。

令和5年2月24日

福井県鯖江市議会

<増額の理由> 令和4年9月22日の鯖江市議会定例会において、当初、調査経費を30万円以内としていたが、調査を進める中で弁護士の法的助言が必要となり、その経費等として12月定例会において90万円を増額し、本年度の予算を120万円以内とした。しかし、本委員会の開催回数が予定していたよりも大幅に増加し、さらに弁護士経費等の経費措置が必要となったため、追加で50万円を増額することとした。

鯖江市議会個人情報保護条例の制定について（市会案第2号）

個人情報の保護に関する法律は、国の行政機関、民間事業者、および独立行政法人それぞれに異なる法律が制定されていたが、この3つの法律を一つの新たな「個人情報保護法」として制定し、全国的な共通ルールを規定するため、全体の所管が個人情報保護委員会に一元化された。

しかし、新保護法においては、地方自治体は同法の規定が直接適用されるのに対し、地方議会は国会や裁判所と同様に改正法の適用外となったことを受け、本市議会としても個人情報の保護に対して適切な対応を取るため、新たに条例を制定した。（令和5年4月1日施行）

請願・陳情の概要

請願・陳情とは？

公的な機関に、困っていることや意見・要望を訴え、改善などを要望することです。議員の紹介がないものを陳情、紹介があるものを請願と呼びます。



陳情 第1号

保育士配置基準改善を求める意見書の提出を求める陳情書

趣旨 長期化するコロナ禍の下、保育現場の職員は、職場や家庭での感染防止による緊張状態が続き、精神的にも大きな負担となっている。このような状況下で、保育現場の人手不足といった問題は、4・5歳児は70年以上、1・2歳児では50年以上も保育士配置基準の見直しが行われていないことに起因している。「適切な保育環境」とするため、国に対し保育士配置基準改善を求める。

委員の意見

- ・保育士を含めたエッセンシャルワーカーが、コロナ禍はもとより、普段から大変苦勞していることは十分に理解できるが、現政権において次元の異なる子育て支援策の拡充を明言していることから、経緯を見守るべきである。
- ・保育士配置基準の改善を求めることは、保育士の増員を求めることにつながり、増員に対する財源は莫大な費用になることが予想され、保育行政に混乱が生じかねない。



不採択